

エコアクション21

2017年度 環境活動レポート

(2017年4月～2018年3月)



2018年6月1日 作成

 八幡電機精工株式会社


エコアクション21[®]
認証番号0001955

I. 事業の概要

1. 事業所

- (1)名称 八幡電機精工株式会社 本社及び工場
- (2)所在地 〒807-0801 北九州市八幡西区大字本城2805番地
- TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556
- <http://www.yawata.co.jp>

2. 代表取締役社長 菊竹 浩和

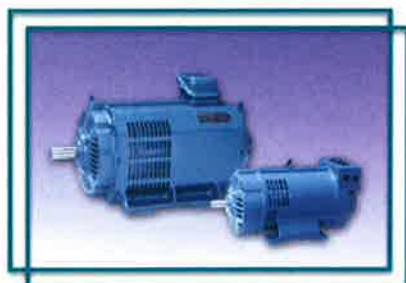
3. 環境管理責任者氏名及びEA21事務局担当者の連絡先

- (1)責任者 環境管理責任者 総務部長 栗野 泰志
- (2)担当者 EA21事務局 総務部 信近 竜也
- (3)連絡先 TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556

4. 事業内容

- (1)業 種 電気機械器具製造及び販売業

- (2)主力製品
- [回転機]
- ・発電機(エンジン発電機・高周波電動発電機・直流発電機)
 - ・電動機(かご形モータ・直流モータ・巻線形モータ・船舶用モータ)
 - ・可変速電動機(インバータモータ・VSモータ・高速スピンドルモータ)
 - ・制御用電動機(ACサーボモータ・DCサーボモータ・半導体装置用モータ)
- [自動機械・装置]
- ・発電装置(周波数変換装置・車載発電装置)
 - ・病院設備(注射薬自動払出装置)
 - ・水産設備(魚体選別機・ホタテ貝穴あけ機)



Ⅱ. 環境方針

環境方針

I. 基本理念

八幡電機精工株式会社は、モータや発電機およびそれらを応用した装置製品の製造・販売の事業活動の中で、地球環境に配慮した企業となるために、次の行動指針を定め行動します。

Ⅱ. 行動指針

1. すべての事業活動の中で省資源・省エネルギーに努め、環境負荷の軽減に努めます。
具体的には次の6項目を全員で取り組みます。
 - ① 電力、化石燃料類の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を抑制します。
 - ② 廃棄物の削減および分別収集により、環境負荷低減とリサイクルに努めます。
 - ③ 水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した部品や商品などのグリーン調達およびグリーン購入を推進します。
 - ⑤ 化学物質の使用量を削減し、環境負荷低減に努めます。
 - ⑥ 製造時の仕損削減に努めます。
2. 環境関連法規および当社が同意した各種協定を遵守します。
3. 環境方針を全職場に掲示し、すべての従業員に周知徹底します。
4. 環境教育や社内広報活動などを行い、環境保全活動の周知徹底に努めます。

2013年3月21日 改定

八幡電機精工株式会社

代表取締役社長 菊竹 浩和

Ⅲ. 環境目標

1. 2009年度以降の目標

(1) 2017年度以降は2013～2015年度の平均実績値をベースに毎年1%削減を目標とした

必須項目 (2010～12年度の実績値をベースとして削減する)	単位	2013～2015年度 平均実績	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/百万円	576.0	570.2 (1%)	564.5 (2%)	558.7 (3%)
廃棄物総排出量の削減	kg/百万円	22.36	22.14 (1%)	21.91 (2%)	21.69 (3%)
総排水量の削減	m3/百万円	0.960	0.950 (1%)	0.941 (2%)	0.931 (3%)
グリーン購入の推進	品目総数 (新規追加品目)	10.7	5	5	
化学物質排出量の削減	kg/百万円	2.390	2.366 (1%)	2.342 (2%)	2.318 (3%)
製造時の仕損削減	売上に対しての 仕損率 %	0.180	0.178 (1%)	0.176 (2%)	0.175 (3%)
環境保全活動 (本社・工場周辺の清掃活動)	月当たり1回以上				

※二酸化炭素排出係数は過去分も含め九州電力の平成26年度の実排出係数(0.584kg-CO2/kWh)を使用しております。

Ⅳ. 主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量の削減の取組み

(1) 電気使用量の削減

- ① エアコンの温度管理の強化
- ② エアコンフィルターの定期的清掃の実施
- ③ 昼休みのエアコン間引き運転
- ④ 工場屋根、壁面遮熱塗装の実施
- ⑤ 昼休みの消灯
- ⑥ 省エネ型空調の導入
- ⑦ コンプレッサのエア漏れチェックおよびエア漏れ予防の推進
- ⑧ トイレ、更衣室、厨房等の蛍光灯のこまめな消灯
- ⑨ 事務所キャビスイッチによる帰社時の消灯徹底
- ⑩ LED照明機器への切替
- ⑪ 電化製品購入時の省エネ品選択

(2) ガス、ガソリン、軽油使用量の削減

- ① 焼鈍炉の焼鈍日設定、まとめ焼鈍による時間の効率化
- ② アルミ溶解炉(ガス炉)の効率運転
- ③ 自動車のエコ運転実施(ガソリン、軽油)
- ④ 高燃費社用車の優先使用による燃費向上

2. 廃棄物排出量の削減の取組み

(1) 金属クズの削減

- ① 製造工程で排出される金属クズ(鉄・銅・アルミ等)の分別収集の実施
(また有価物として売却した金属クズについては対象外とする)

(2) 紙クズの削減

- ① 全社に紙専用BOXを設置による分別収集の実施
(また有価物として売却した紙クズについては対象外とする)
- ② 裏紙の再利用
- ③ 両面コピーの推進
- ④ 社内資料裏紙の推進
- ⑤ 段ボールの分別収集の実施
- ⑥ コピー機の製本機能利用による複数枚コピー時の紙使用数削減

3. 総排水量の削減の取組み

(1) 節水による削減

- ① 水道メーターチェックによる水漏れの確認
- ② 水道蛇口の閉め忘れチェック
- ③ 漏水箇所の修繕

4. グリーン調達及び購入の推進の取組み

(1) グリーン調達及び購入の推進

- ① 工場消耗品のエコ商品への切替
- ② 作業材料のエコ商品への切替

5. 化学物質排出量の削減の取組み

(1) 化学物質の削減

- ① 在庫塗料使用による塗料の廃棄量削減
- ② 洗浄液の再利用(濾過器設置)による購入量削減

6. 製造時の仕損削減の取組み

(1) 帳票類の有効活用による仕損工数削減

- ① 作業標準の遵守による仕損削減
- ② チェックシート等の活用による仕損削減
- ③ パトロール実施によるチェック

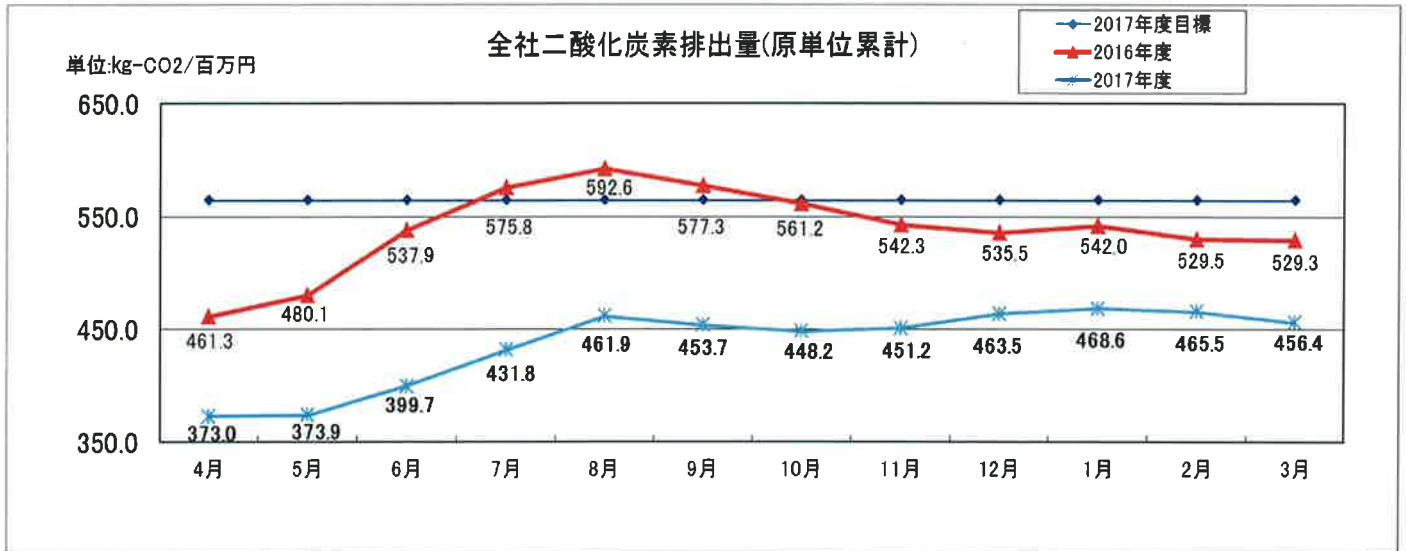
7. 環境保全活動の取組み

(1) 本社、工場外周の清掃活動

V. 環境目標の実績

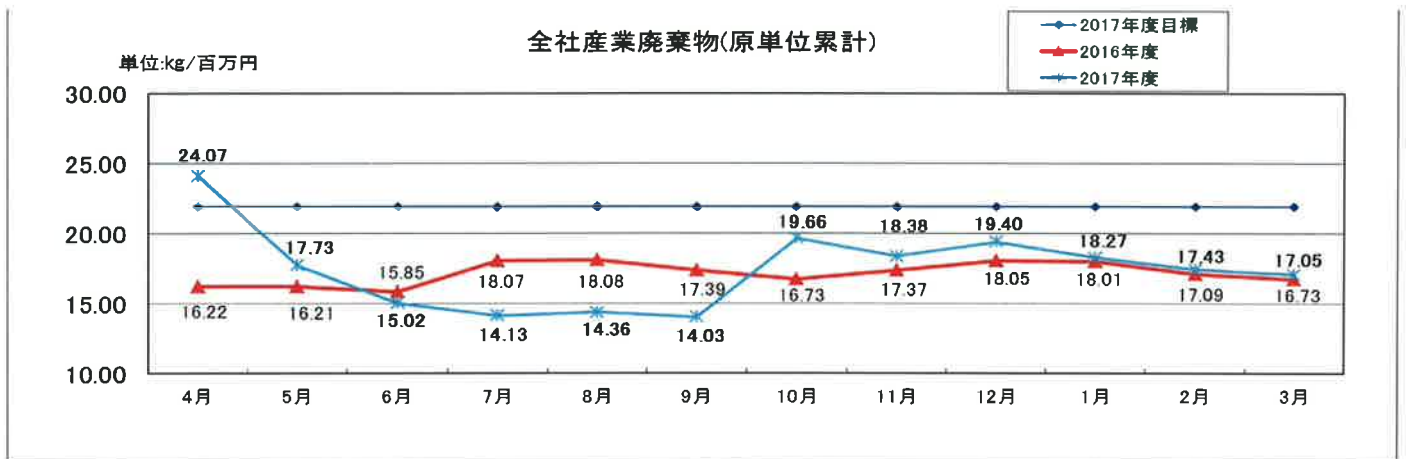
1. 二酸化炭素排出量の削減・・・目標達成

目標(564.5kg-CO₂/百万円)
実績(456.4kg-CO₂/百万円)



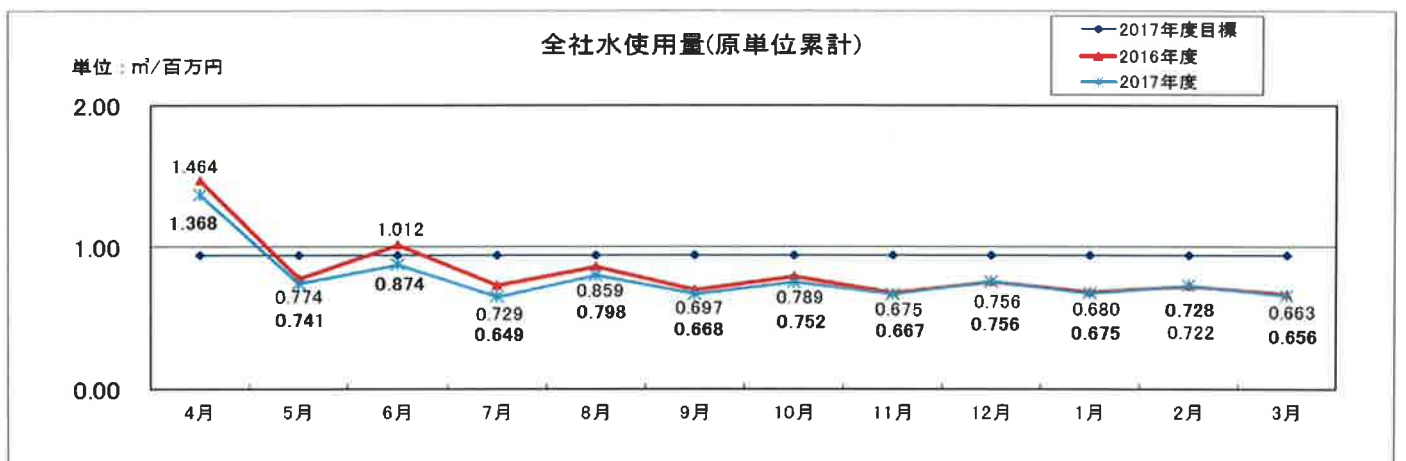
2. 廃棄物総排出量の削減・・・目標未達成

目標(21.91kg/百万円)
実績(17.05kg/百万円)



3. 総排水量の削減・・・目標未達成

目標(0.941m³/百万円)
実績(0.656m³/百万円)



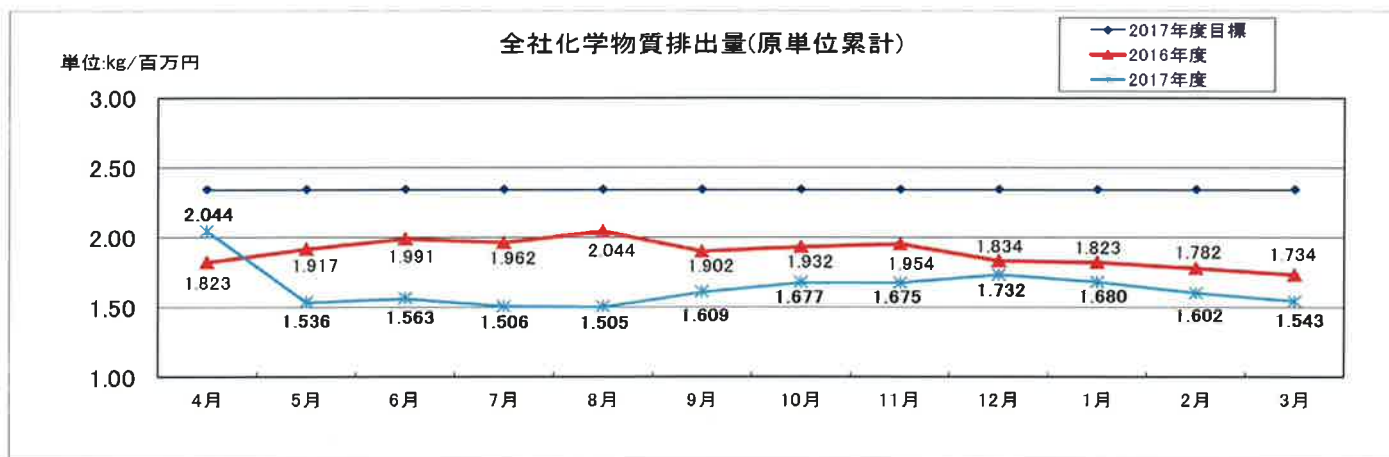
4. グリーン調達および購入の推進・・・目標達成

目標(新規品目5件)
実績(新規品目16件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規切替件数	2	1	2	1	1	1	1	1	1	3	1	1	16
累計切替件数	0	3	5	6	7	8	9	10	11	14	15	16	16

5. 化学物質排出量の削減・・・目標達成

目標(2.342kg/百万円)
実績(1.543kg/百万円)



6. 製造時の仕損削減・・・目標達成

目標(0.176%)
実績(0.084%)



VI.環境活動の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

2017年度については、IV項の環境活動を着実に実施しました。
実績については次の通りです。(下表参照ください)

必須項目	負荷量	2016年度 実績	2017年度			
			目標(A)	実績(B)	(B)/(A) (%)	
年間売上高	(単位:百万円)	3,460 ※1		3,623 ※1		
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	1,831,194		1,653,181		
	原単位(kg-CO2/百万円)	529.2	564.5	456.3	80.8	
主要 項目	電力使用量	総量(kWh)		2,558,185		
		原単位(kWh/百万円)	836.5	902.0	706.1	78.3
	ガス使用量	総量(m3)	38,714		44,938	
		原単位(ℓ/百万円)	11.19	11.642	12.404	106.5
ガソリン使用量	総量(リットル)	4,278		3,821		
	原単位(ℓ/百万円)	1.24	2.155	1.055	48.9	
軽油使用量	総量(リットル)	3,095		2,930		
	原単位(ℓ/百万円)	0.89	1.401	0.809	57.7	
廃棄物総排出量	総量(kg/年)	57,885		61,780		
	原単位(kg/百万円)	16.7	21.91	17.05	77.8	
総排水量	総量(m3/年)	2,297		2,378		
	原単位(m3/百万円)	0.664	0.941	0.656	69.8	
グリーン調達及び 購入の推進	品目総数(新規調達)	24	5	16	320.0	
化学物質排出量 の削減	総量(kg/年)	6,001		5,589		
	原単位(kg/百万円)	1.734	2.342	1.543	65.9	
製造時の仕損削減	売上に対しての仕損率(百万円)	0.063	0.176	3.043	47.7	
	単位(%)			0.084		

・二酸化炭素排出係数は過去分も含め九州電力の平成26年度の実排出係数(0.584kg-CO2/kWh)を使用しております。
※1 新規に移管を受けた小形Σモータの受注は、通常の製品(材料費+工賃)とは違い、工賃のみの売上高となっていて材料は支給されているため、売上高を2倍として計算しています。

■今年度の取組内容及び評価、次年度取組内容

必須事項	今年度の取組内容及び評価	達成状況 (実績/目標)	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	・1-1から1-4の取組により、目標達成となった。	○ 80.8%	・1-1から1-4の取組を行い、二酸化炭素排出量を削減する。
1 1-1 電力使用量の削減	・工場、事務所のこまめな消灯の徹底を実施 ・第1工場、厚生棟および事務所の空調を省エネタイプへ更新(計41台) ・第3工場の空調機へデマンドコントローラ設置 ・老朽化した機械装置を省エネタイプへ更新 ・第2会議室、役員室、来客ルーム、常夜灯をLEDへ更新 上記の取組等により、電力使用量を大幅に削減でき、目標達成となった。	○ 78.3%	・空調の温度管理と空調フィルタの定期清掃、エア漏れの改善と予防、工場・事務所・厚生棟のこまめな消灯の徹底、省エネ設備等の更新により、電気使用量を削減する。
1-2 ガス使用量の削減	・焼頓炉をガス化(重油よりガスに燃料変更)したことにより、ガス使用量が増加したため、目標未達となった。	× 106.5%	・効率的なまとめ焼頓の徹底と設備の整備を継続し、ガス使用量を削減する。
1-3 ガソリン使用量の削減	・昨年導入した営業車(ハイブリット車)や電気自動車の優先使用、エコドライブ推進により、ガソリン使用量が減少したため、目標達成となった。	○ 48.9%	・高燃費車の優先使用とエコドライブを継続し、ガソリン使用量を削減する。
1-4 軽油使用量の削減	・エコドライブの推進、効率的な配送により、軽油使用量が減少したため、目標達成となった。	○ 57.7%	・エコドライブと効率的な配送を継続し、軽油使用量を削減する。
2 産業廃棄物排出量の削減	・廃油処分量は増加したが、売上高増加に伴い、目標達成となった。	○ 77.8%	・紙・缶・ペットボトルの分別強化、裏紙利用と両面コピーの推進を継続し、産業廃棄物を削減する。
3 排水量の削減	・漏水管理の一環として、第1工場の老朽化した水道配管の全面改修工事を実施した。 ・水使用量は増加したが、売上高増加に伴い、目標達成となった。	○ 69.8%	・漏水管理(水道メータの確認等)の継続と漏水箇所の速やかな修繕を行い、水使用量を削減する。
4 グリーン調達及び購入の推進	・設備や文房具など積極的にグリーン購入を行い、目標達成となった。	○ 320.0%	
5 化学物質排出量の削減	・塗料の在庫引当てによる管理や洗浄液再利用により、目標達成となった。	○ 65.9%	・在庫塗料使用による塗料の廃棄量削減や洗浄液の再利用を行い、化学物質を削減する。
6 製造時の仕損の削減	・社外クレームを発生させないため、チェックシート等の活用状況のパトロールを行い、目標達成となった。	○ 47.7%	・帳票類の有効活用とパトロールを実施し、製造時の仕損を削減する。

VII. 環境活動の取組状況

■工場空調の更新



■事務所空調の更新



■空調機デマンドコントローラ設置



■照明の更新(LED化) 第2会議室、役員室



■機械装置の更新(一部のみ抜粋)



(ラジアルボール盤)



(NC旋盤)



(汎用円筒研削盤)

VIII. 環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に関わる環境関連法規等について当社でチェックした結果、違反は過去3年間ありません。また、関係機関からも特に指摘はなく、訴訟についてもありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクションの認証登録から10年が経過し、社内環境は大きく改善しました。設備投資を含め従業員の環境に対する意識も着実に定着し、行動が伴うようになってきました。取組内容を都度見直し、掲げた目標達成を目指して、全社一丸となって環境改善活動を行っていきたいと思います。

2017年度の目標達成状況は、売上高が大幅に増加したことにより、すべての項目で目標達成となりました。活動結果としては、工場・事務所の空調機更新が消費電力量の削減に大きく貢献しました。

全体の評価としては、環境経営システムは有効に機能しており、環境目標達成に向けた取組みが適切に実施されていると判断しました。次年度も2017年度に実施した活動を継続し、すべての項目で目標を達成したいと思います。

今後もエコアクション21活動を継続し、環境に貢献できる企業として努めていきます。

八幡電機精工株式会社

代表取締役社長 菊竹 浩和